

# **IP3-FP20**

## **バージョンアップ操作説明書**

第 1 版 2013 年 4 月 5 日

株式会社 iND

## 概要

バージョンアップツール(以下、本ツール)は、IP3-FP20(以下、本製品とする)をバージョンアップするためのものです。まず、本製品をバージョンアップモードにし、本ツールを使用します。本ツールを使用して製品のバージョンアップを行うためには、製品のバージョンアップファイルが必要になります。

## バージョンアップツールの説明

本ツールの使用方法について記述致します。

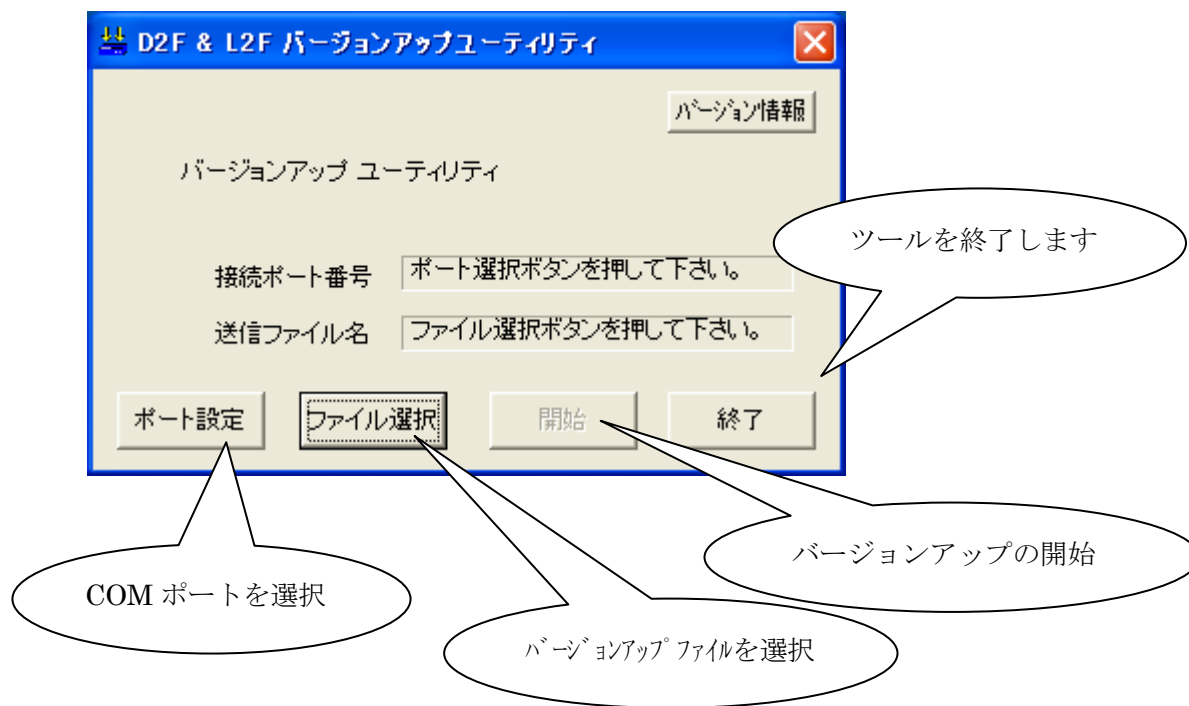
1. パソコンに” D2FAssistVerup\_xxx.exe”及びバージョンアップファイル(xxx.bin)をコピーしてください。

例) copy a:¥ D2FAssistVerup\_104.exe C:¥WINDOWS¥デスクトップ ¥update

copy a:¥rootfs.bin C:¥WINDOWS¥デスクトップ ¥update

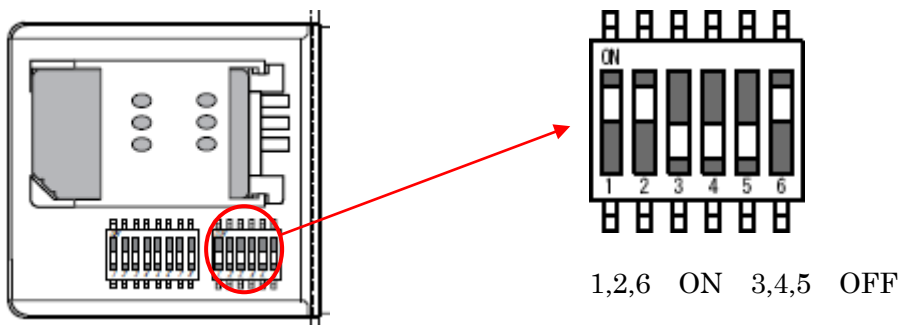
2. 本ツールを起動して下さい。

” D2FAssistVerup\_104.exe”を実行しますと、次の画面が表示されます。



本製品バージョンアップ方法

- 1. 本装置からバッテリーを外し、電源を OFF します。
- 2. FOMA カード内にある右側のディップスイッチを、下図の様にバージョンアップモードにします。



- 3. 本装置の左側面にある、『運用－設定』のスライドスイッチを『設定』側にします。
- 4. パソコンと本装置の『設定 RS』を RS232C のクロスケーブルで接続します。
- 5. 本装置の電源を投入します。
- 6. 約 12 秒後、本装置の LED 表示が下記に示すような状態になることを確認して下さい。

用途	点灯方法				
	電源	パケット 圏内	通信 中	SD	RD
バージョンアップ	常点灯	消灯	常点灯	消灯	消灯

7. ツールを使用し、本製品をバージョンアップします。

- ① ポート設定をクリックしてください。ポート番号の選択画面が出ますので、RS232C ケーブルが接続されているポート(COM ポート)を選択してください。ポート番号を選択した後、“OK”をクリックしてください。COM ポートを設定します。PC が本製品と接続しているポートを選択してください。



下図のような画面が出た場合

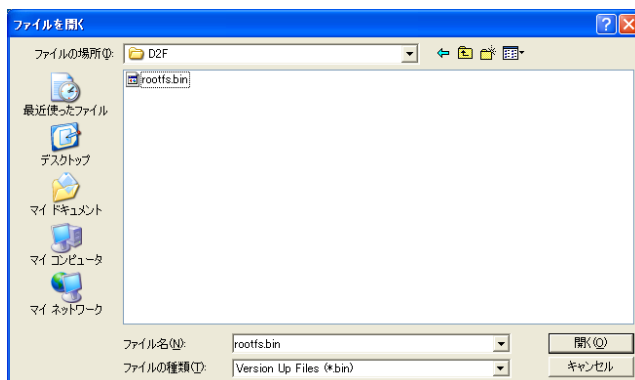


選択したポートが他のアプリケーションで使用されていませんか？

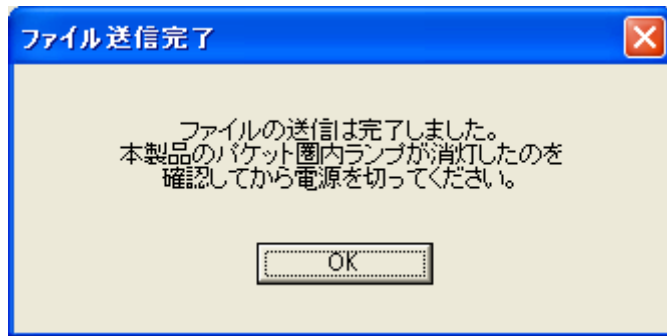
選択したポートがパソコンにありますか？ノートパソコンの場合は赤外線ポート、PCMCIA ポートも COM ポートに割り当てられる場合があります。

- ② ”ファイル選択”をクリックして下さい。ダイアログボックスが起動しますので、バージョンアップファイルを選択してください。

※注意：kernel.bin ファイルと rootfs.bin ファイルを両方アップデートする場合、kernel.bin ファイルからアップデートしてください。



- ③ ”開始”ボタンをクリックしてください。バージョンアップが開始されます。プログレスバーが表示され進行状況が表示されます。
- ④ ”ファイル送信は完了しました。本製品の通信中ランプが消灯するまで電源を切らないで下さい。”というメッセージが表示されます。



バージョンアップが完了するまで約 5 分 30 秒かかります。(rootfs.bin の場合)  
本装置の通信中ランプが消灯するまでは、本装置の電源を落とさないで下さい。  
バージョンアップが失敗した場合は、通信中ランプがオレンジ点滅します。

- ⑤ バージョンアップ完了（本装置の通信中ランプが消灯）後は、本装置の電源を落とします。
- ⑥ ディップスイッチを運用時のモードに戻し、本装置の左側面にある、『運用－設定』のスライドスイッチを『運用』側にします。

以上